

# 共翔

第31号



## 目次

### 【巻頭言】

- ・ 与謝野寛が短歌に詠んだ宋版 ― 正宗文庫創設前夜―川崎剛志 ..... 2

### 【研究ノート】

- ・ 「大人と絵本」 六車美加 ..... 4

### 【図書館活動報告】

- ..... 6

### 【図書館セミナー実施報告】

- ..... 8

### 【ブックハンティング報告】

- ..... 9

### 【ブックガイド】

- ..... 10

### 【学生協働】

- ・ 図書館サポーター活動報告 ..... 12

- ・ 卒業する図書館サポーターからのエール ..... 14

### 【ユーズーズガイド】

- ・ データベース活用法 ジャパンナレッジLib 瓦井裕子 ..... 16

メディカルオンライン 堀田裕司

日経テレコン21, 日経パリュースーチ 日高靖和

- ・ 今年度導入しました SFX 韻鏡 学認 ..... 19

### 【利用者へのメッセージ】

- ..... 20

## 与謝野寛が短歌に詠んだ宋版 — 正宗文庫創設前夜 —



就実大学・就実短期大学図書館長 川崎 剛志

正宗文庫は、国文学者で歌人の正宗敦夫（1881-1958）が、1936年、郷里の和気郡伊里村大字穂波（現備前市）に創設した文庫である。地域資料と国文学書を中心に、蔵書数は約7千点、約2万冊を数える。小説家の兄白鳥、洋画家の弟得三郎が上京して活動したのに対して、敦夫は家業を継いで生涯郷里で過ごした。そうした環境の下、岡山の、そして全国の研究者・作家と交わり、日本古典全集の刊行など、全国的にみても最先端の成果を発信し続けた。まさに、知の巨人であった。

文庫創設の3年前、1933年6～7月、歌人の与謝野寛（1873-1942）・晶子（1878-1942）夫妻が岡山を旅した。そのとき真っ先に訪ねたのが、親交の深かった正宗邸であった。旅の経過は吉崎志保子『正宗敦夫の世界—階上階下すべて書にして』（1989年）に詳しい。帰京後間もなく、雑誌『冬柏』第四巻第八号（1933年7月25日）に、晶子と寛はそれぞれ「海より溪へ（一）（二）」という題で旅中の短歌を多数発表した。さらに同号の消息に寛は旅行記も寄せている。いま正宗邸を訪ねた件をみる。

（六月廿七日）備前の和気駅へは正宗敦夫氏が伊里村から自動車を借

（やと）つて出迎へられて居た。氏のお宅へは十五年振に來たのである。（略）前に住まれた二階家には令息御夫婦が生まれ、正宗氏御夫婦は近年新築せられた二階建てに住まれてゐる。蔵書はますます殖えて、文字通り纔（わずか）に身を容れる有様である。近く愛蔵に帰したいろいろの珍籍を見せて貰つた。

この新築の二階建てで夫妻が詠んだのが次の短歌である。

流俗をいなめる門と思ふらん藤のおほへり階上の窓 晶子  
そのなかに主人（あるじ）と坐り瓜を食（は）む階上階下すべて書にして 寛  
西の窓藤若葉より風わたり伊部の鉢に竝（なら）ぶ宋版 寛

（一部表記を改めた。以下同じ。）

ふたりは示し合わせたかのように（たぶん、そうなのだろう）、「階上」「窓」「藤」を材に正宗邸を詠んでいる。当時、近隣では少なかった二階建ての、その西の窓を覆う藤の景色を詠みこむことで、敦夫に感謝の意を表したのであろう。ただ、その表現は、家族の現実の生活とは乖離していたようで、後年、敦夫の令息甫一は晶子の短歌について、

階上の窓は西向にて夕日が座敷一杯に差込むので閉口して藤を植えて以てカーテンの代用にしていた。実用を文学化して呼んだのでしよう。此家は二艸堂にて敦夫の住居でした。書庫を兼て居た。

と記している（「色紙による晶子さんの思出」1968年）。家族にとってたいせつだったのは、二階建ての南北の窓のほうだった。敦夫の弟、得三郎は旧邸の二階建てを、

郷里の家の二階の窓は、前に海が展開し後に山が控えている。瀬戸内海入江の一端なのである。（略）で窓は、海便、山便の眺望を擅（ほしいまま）にしている。少年時代私は、国の兄と共にこの裏窓から東西の寺や、山をよく眺めたものだ。

と回想している（『ふる里』1943年）。

さて、寛の「そのなかに」の短歌は、吉崎が高著の副題に「階上階下すべて書にして」の句を用いたことでも知られるが、一首としてみたとき、日常を写す「瓜を食む」との取り合わせの軽妙さに惹かれる。続く「西の窓」の短歌も、日常を写す「伊部の鉢」と、「宋

版」との取り合わせがよい。「近く愛蔵に帰したいろいろの珍籍を見せて貰った」なかでも、敦夫が推したのが「宋版」かと察せられる。宋版とは、中国の宋代（北宋960～、南宋1127～1279）に刊行された書物で、平安時代から多く輸入された。その本文の確かさと書物としての秀麗さから、蔵書家の間できわめて人気が高い。敦夫が嬉々として宋版を寛に見せた姿が思い浮かぶ。

正宗文庫の宋版は『一切経音義巻第二』折本1帖であった。北宋の福州東禪寺版一切経6千余帖のうちの1帖で、崇寧二年（1103）刊。冒頭に「三聖寺」の朱の丸印が捺される。三聖寺は鎌倉中期、京都に創建された禅宗寺院（もと天台浄土教寺院）で、その創建時に一切経が納入されたとみられる。明治六年廢寺。それ以前、江戸後期に一切経は寺から離れ、本源寺（愛知県稲沢市）ほかに四散した（「共同研究一本源寺蔵宋版一切経調査報告」1795年、『宋版一切経（福州版）調査提要一本源寺蔵の調査を通して』2022年）。さらに本書には「奉施入大日本国備前州和气郡藤野莊和气宮、大内大明神・国造大明神両社御宝殿常住也」の墨書があり、江戸後期、郷里の近くの神社に施入されたのを、何らかの経緯で敦夫が入手したこともわかる。こうして、いま正宗文庫にある。一切経納入当時の三聖寺はもう想像できないだろうと諦めていたところ、ぶらり立ち寄った特別展「東福寺」（東京・京都国立博物館、2023年）に、三聖寺旧蔵の迦葉・阿難立像（190cm前後、東福寺蔵）、金剛力士立像（200cm強、万寿寺像）が出陳されていた。それらの像は秀逸で、経蔵を含む、創建時の威容を想像させるのに十分な出来栄えだった。

◀『正宗敦夫と正宗文庫：岡山県立博物館2023年度（令和5年度）テーマ展』川崎剛志、小川剛生、神作研一編集（国文学研究資料館，就実大学人文科学部，2023年9月）より抜粋

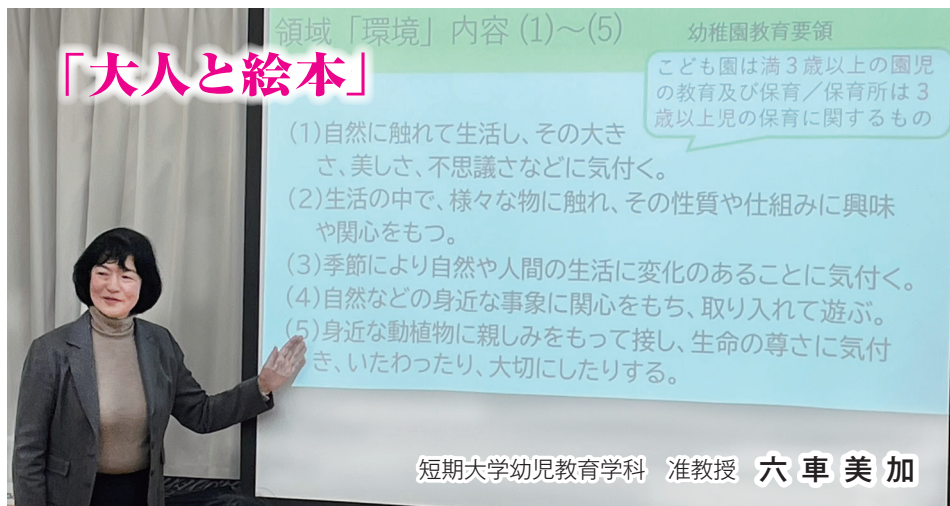


4  
5

宋版  
一切経音義

身謝野寛が短歌に讀んだ宋版  
北宋末期、中国の福州の東禪寺で印刷された六〇〇巻の「一切経」のうちの一帖です。京都の三聖寺に輸入された一帖が敦夫と、和歌の神社を経て文庫に入りまし。寛のこの一切経音義（全五帖）本書は巻第二で、一切経の解釋に漢字・空の音の羅列が記されています。文庫をわたり、寛は本書に目を留めて「西の窓」の副題を記しました。（同書）





就実大学・就実短期大学図書館の1階には絵本・紙芝居コーナーがあり、読み聞かせのできるスペースまで用意されている。ここでは声に出して読むこともできる。幼稚園や保育所等の保育現場に欠かせない絵本や紙芝居といった児童文化財にいつでもふれることができるので、保育者を目指す学生にとってこの上ない環境である。

この場を活用し、学生には「子どものために」「保育のために」の前に、「自分のために」絵本を楽しみ味わってほしいとも思っている。

### 絵本の歴史

大正末期から昭和初期に遡ると、子どもに良質な文学を与えようと児童文化運動が起こり、児童雑誌『赤い鳥』も刊行された。戦後には、欧米の翻訳絵本が日本で出版されはじめ、『こどものとも』や『岩波の子どもの本』シリーズなどが創刊されたり創作絵本が制作・出版されたりするようになり、新たな絵本文化の時代が訪れた。このように近年の絵本の歴史をみる

と、子どものために制作されるようになった絵本であるが、絵本は子どもだけのものではないというのは、広く知られていることであろう。

### 大人にも絵本を

「絵本（その絵本を見るに適した年齢）には下限があっても上限はない」。かつて先輩の先生から教わったことである。大人も子どもも絵本に心癒され、感動し、励まされる。純粹に絵本を楽しみ、絵本のもつ力に魅了される人は少なくないだろう。

ノンフィクション作家の柳田邦男氏は『絵本の力』（2001岩波書店）の中で、「（略）数冊の絵本を買って帰り、ゆっくりと読みました。心がなぜか穏やかに癒されていくのを感じました。絵本一冊一冊の物語に、また絵や言葉のひとつひとつに、かつて読んだときとは違う深い意味や味わいを見出し、すっかり絵





本のとりこになってしまいました。」と、その時の心境が関係していると言いつつも絵本にのめりこんだ状況を述べている。

自身を振り返ってみても、絵本『ぼくを探しに』（シェル・シルヴァスタイン 作／倉橋由美子 訳／1977年初版）は、学生時代から私の本棚に30年以上ある一冊となっている。シンプルな絵と文で構成され、不完全な球体の主人公が欠けた部分を探しに行くストーリーが当時、心にささった。今の自分でいいんだと自分自身を受け入れるきっかけになったともいえる本で、以来、年代ごとにそれぞれの感じ方でこの一冊とつきあっている。



## 絵を読む、絵を楽しむ

絵本とは、絵と文から成り立つ本である。文字のない絵本もあるが、絵と文とが一体となっている、補い合っているといわれる。絵本を開くと大人はまず文字からストーリーをとらえがちかもしれないが、絵をじ

っくり見なければもったいない。子どもがそうしているように、絵の隅々まで見入って様々に感じ取り読み取りながら楽しむ、これは絵本の醍醐味だと思う。できれば、大人も絵本を読んでもらって耳から文を聞いて同時に絵を見て、味わい、発見する体験をするとそれが実感できるのではないだろうか。

## 純粹に、感じるままに

絵本を見て、純粹に笑う、涙する、様々な感情に共感する、心動かされる、童心に戻るなど、それぞれの楽しみ方でいい。絵本には日常生活を切り取ったかのようなストーリーもあれば、ファンタジー、ナンセンスをテーマにしたものもある。口承されてきた昔話を絵本にしたものもある。作家からのメッセージを感じながら、あるいは自分なりの解釈で、絵本の世界を存分に味わいたいものである。

学生だけでなく、大人になった人々に絵本が受け入れられることは何だか嬉しい。気になる絵本、お気に入りの絵本をお手元に、とお勧めしたい。



# 図書館活動報告



- ・【学生協働】  
新入生対象図書館ガイダンス



- ・ゼミ生対象図書館利用案内(～7月)
- ・Webclassに図書館ガイダンスの更新
- ・リユース本譲渡会(4/3～28)



- ・【学生協働】  
図書館サポーター交流会→  
各グループ活動開始



- ・ブックハンティング実施
- ・オープンキャンパス  
来館者149名



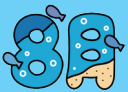
- ・『韻鏡』国書データベースで公開
- ・「学認」サービス開始(p19)
- ・「企画展示」「図書館サポーターが選んだ雨の日を楽しむ本」



- ・七夕飾り実施
- ・論文リンクナビ(SFX)の利用開始
- ・オープンキャンパス 来館者239名
- ・【学生協働】「グッズ作成」制作した葉を  
カウンター前で配布



- ・【学生協働】  
「絵本の読み聞かせ」  
(小学校、こども園)
- ・【学生協働】「掲示物作成」「海」「提灯祭り」「夏祭り」  
掲示物作成、館内の飾りつけ
- ・「企画展示」『図書館サポーターが選んだ夏の本』
- ・マナーアップ月間



- ・高校生オープンライブ  
ラリー利用
- ・オープンキャンパス  
来館者350名



- ・ゼミ生対象図書館利用案内(～10月)

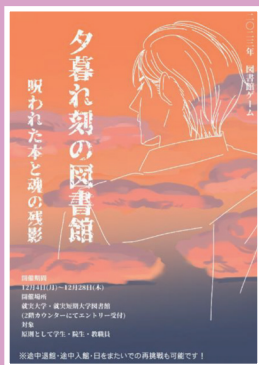
- ・【学生協働】「掲示物作成」「ハロウィン」掲示物作成、館内の飾りつけ
- ・【学生協働】「グッズ作成」スタンドグラス風琴、図書館ゲーム景品作成



- ・中学生職場体験受入
- ・インターンシップ学生受入
- ・図書館セミナー『「蘭読」の楽しみ～岡山蘭学からフェルメール、アンネ・フランクまで～』
- ・Webブックハンティング（就実 LibrariE）わいわい選書会
- ・「企画展示」「冬におすすめの本」



- ・【学生協働】館内クリスマスの掲示
- ・スペシャル講座「絵本翻訳の世界」（講師：武部好子先生）



- ・【学生協働】図書館謎解きゲーム「夕暮れ刻の図書館 呪われた本と魂の残影」
- ・【学生協働】「グッズ作成」図書館キャラクターの栞作成



- ・【学生協働】第2回 POP 総選挙
- ・書道部による令和6年新春企画 書道部作品展
- ・美術部による希望あふれる新春 美術部作品展 in Library
- ・マナーアップ月間

- ・一般雑誌譲渡会
- ・掲示「2024年の抱負」
- ・スペシャル講座「小説を書くこと／読むこと」（講師：小林敦子先生，坂堅太先生）
- ・【学生協働】リレー小説や読書会ほか定期的に活動中！







# ブックハンティング報告

## ★ブックハンティングとは？★

書店で好きな本を選べるイベントです。  
2023年度もブックハンティングを行いました!!!  
紀伊國屋書店と丸善雄松堂書店に伺いました。  
書店様、本当にありがとうございました。  
選んだ本は図書館の書架に並びます。POPを作成して  
みんなにオススメしましょう!

## A こんな本を選んでね!

- ・図書館に置いてほしい本  
(図書館で読みたい本)
- ・卒論や就活に必要な本
- ・講義やレポート作成に役立てたい本
- ・通学中に読める電子書籍

Q. どんな本を選んだらいいの?

など

## ブックハンティング体験記

【1回目】実施期間：2023年6月3日(土)  
場 所：紀伊國屋書店  
参加者数：13名  
選書冊数：59冊

【2回目】実施期間：2023年6月22日(土)  
場 所：丸善雄松堂  
参加者数：14名  
選書冊数：82冊



ブックハンティングに参加して良かった点が二つあります。

一つ目は、普段読まない本に出会えたことです。本を選出するに当たり、これまで読んだことのない専門書や写真集等、未知の世界と接することができました。

二つ目は、参加者との親交を深められたことです。決められた予算の中で、どのような本が良いか判断のつかなかった私に、先輩方は優しくアドバイスしてくださり、図書館に有益な本を厳選することができました。また、交流の中で互いの趣味や興味のある書籍について会話をし、絆の輪を深めることができました。

これらの体験からブックハンティングの面白さを私はおすすめしたいです。皆さんも是非、参加してみてくださいでしょうか?

(表現文化学科 安延 遥)

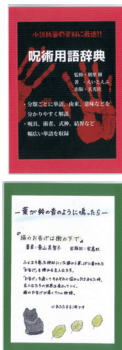
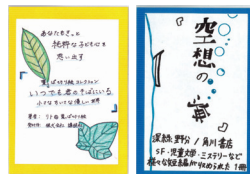
ブックハンティングの魅力は読みたいと思った本や図書館に入れてほしい本を自分で選んで置いていただけたところです。

私が参加したブックハンティングは実際に書店に行き、自分の目で本を見て手に取って選ぶことが出来ました。実際に書店で使っている機械に触られていただき、邪魔にならない程度に歩き回って自由に本を選ぶことが出来たので本を見て回るのが好きな私からすればとても楽しくていい体験でした。

ブックハンティングで選んだ本を誰よりも先に借りて読むことも出来るので、本が好きな人はおすすめです。

(生活実践科学科 森川 恵那)

POPはブックハンティング参加学生が作成しました





tupera tupera 作 『パンダ銭湯』

(絵本館)



この絵本は、幼稚園で読み聞かせをする時に読みやすく、園児の気を引くことができる絵本を探している際に図書館で見つけた絵本です。

絵本の内容は、パンダが銭湯に入る様子が描かれており、その中にはパンダのある秘密が隠されています。この秘密を最初に読んだとき、私はとても衝撃で何度も読みたくなりました。その他にも隔々まで読むと見ていて楽しい工夫がされています。

読み聞かせをしているとき、園児たちはページをめくる度にキラキラした目を向けて聞いてくれたのでこの絵本を選んで良かったと思っています。

どの年代の人が読んでも楽しめる絵本になっているので、ぜひ読んでみてください。

(表現文化学科 N.D.)

サン＝テグジュペリ・作

河野万里子・訳

『星の王子さま』

(新潮文庫)



大学生になると、星の王子さまのような児童文学を読む機会が減ると思います。しかし、大学生になった今だからこそ読んで欲しいと思います。私が小学生の頃初めて読んだときは、星の王子さまの内容がうまく掴めず、結局何が言いたかったのか理解ができませんでした。

去年の夏、星の王子さまの舞台を見たことがきっかけで読み返してみると、バラと喧嘩してしまった王子さまの気持ちや小さいときの僕の気持ちが分かるようになっていました。きっと私が今よりも大人になったときは、また違った解釈ができると思います。星の王子さまという本は、何度も何度も読み返すうちに、その時の私自身に寄り添った物語になると思います。

去年の夏、星の王子さまの舞台を見たことがきっかけで読み返してみると、バラと喧嘩してしまった王子さまの気持ちや小さいときの僕の気持ちが分かるようになっていました。きっと私が今よりも大人になったときは、また違った解釈ができると思います。星の王子さまという本は、何度も何度も読み返すうちに、その時の私自身に寄り添った物語になると思います。

(実践英語学科 ソーヤ)

村山早紀著 『桜風堂ものがたり』

(PHP研究所)



百貨店の書店に勤める月原一整は人付き合いが苦手だが、隠れた名作を見つけることが得意で店長からも信頼されていた。しかし、ある日店内で起こった万引き事件がきっかけとなり、一整は店を辞めることとなる。

傷を抱えた一整は以前からネットで親しくしていた桜風堂という書店を営む老人を尋ねる。その書店がある桜野町で思いがけない出会いが待ち受けていた。一整が見つけた一冊を巡り彼の友人、元同僚、作家、そして出版社が一緒になって奇跡を巻き起こす。人との関係の温もりを感じることができ、疲れたとき、しんどい時に読むとあたたかな気持ちになります。書店の数、書籍を手取る人が少なくなっている今こそ読みたい一冊です。

(教育心理学科 F.W)

青柳碧人著

『赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。』

(双葉社)



この本は赤ずきんちゃんが殺人事件を解決していく赤ずきんシリーズの一冊です。

話は森の中で赤ずきんちゃんが指がくいっ、くいっ動く人形の腕を拾ったところから始まります。

腕の主の体を取り返しに「おやゆびいぢざ」に行った赤ずきんは完璧な推理で事件を解決し体を取り戻せると思った矢先、魔女に持って行かれてしまいました。赤ずきんは不思議な人形の体を追って旅に出ることに。

ファンタジーの要素が強いので現実味のある推理小説は苦手だという方にもおすすめの本です。

(薬学科 すきん)



森山晋平著

『世界でいちばん素敵な夜空の教室』

(三オックス)



日常生活で生じるさまざまな不思議を解決してくれるのが『世界でいちばん素敵な教室』シリーズであり、この本は星や月など天体の不思議を展開していく本です。例えば「天の川の正体は何?」「彗星と流れ星は何がちがうの?」といった疑問を美しい写真と丁寧な解説が掲載されたQA方式で答えていきます。また、星空を観察するためのスポットも押さえてあるので観光地探しにもぴったりです。読めばきっと誰かに星を語りたくなる。是非手に取って体感してみてください。

(総合歴史学科 葛切り)

水野敬也著 『夢をかなえるゾウ1』

(文響社)



この本は、惨めな自分を変えて成功したい主人公が、ガネーシャという不思議な関西弁の神様に会って、毎日出される課題を通して少しずつ人生を変えていく物語です。笑いあり、涙あり、時には核心をつくセリフあり

と、自己啓発本にしてはたいへん読みやすい内容だと思います。

課題は毎日ひとつずつ出されどれも難しいものではなく、一日でできるものになっている。しかし、どれも偉大な人たちが実践してきたことであり、人生を変えるほどの効果をもたらすものです。そしてこの本を読むうえで大切にしてもらいたいことは、出された課題を「必ず実行する」ことです。課題だけを見るのではなく、ストーリーも併せて読むことで感情が動き、行動に移しやすくなります。

自分を変えたいという人のお供にどうかこの一冊を。

(経営学科 H.K)

柏葉幸子著 『つづきの図書館』

(講談社)



子供の頃、大好きだった本はありますか？ 私たちが「あの本の続きを知りたい」と思っているように、本の中に出てくる登場人物も「読んでくれた人の(人生の)続きを知りたい」と思っているか

もしれません。

主人公の桃さんは、司書として田舎の図書館で働くことになりました。その図書館で司書としての仕事は、利用者の読みたい本を探すのではなく、『はだかの王様』に登場する、はだかの王様や『オオカミと七ひきの子やぎ』のオオカミたちからの人探しの依頼。「自分の本を読んでくれていた人の“つづき”を知りたい」という登場人物たちの願いを叶えるべく、桃さんは動き出します。

本が好きで、本に好かれた人たちへ、心あたたまるお話です。

(初等教育学科 ぴくみん)

安壇美緒著

『ラプカは静かに弓を持つ』

(集英社)



「ラプカは静かに弓を持つ」は、深海の悪夢に魘(うな)されてきた橘が上司の塩坪に、著作権法の演奏権を侵害している証拠を得るため音楽教室への潜入捜査を命じられるところから始まり

ります。

担当講師である浅葉や音楽仲間を欺く罪悪感と、仕事を全うしなければならない使命感との葛藤が描かれています。特に、登場人物の感情や楽器の音を表す文章がとても綺麗で、私はそれらの情景を頭の中で容易に想像することができました。

また、普段は出会う機会があまりない単語、表現が多く使われており、語彙の増加も期待できる一冊となっています。ぜひ一度お手にとってみてはいかがでしょうか。

(幼児教育学科 ペンどろぼう)

ブックガイド

# 図書館サポーター活動報告

図書館  
サポーターとは

図書館を盛り上げることを目的とした団体です。学生の希望により9年前に発足しました。今年度は7つの自主企画グループが自分たちで企画・活動内容を考え、協力しながら楽しく元気に活動しました。学科・学年を越え、新しいことにチャレンジしています。

## POP作成

表現文化学科 小松原 洸太



今年のPOP作成班はPOPの作成と、昨年のPOP総選挙を踏襲し第二回POP総選挙を開催しました。まだ、発足して新しい班のためPOP総選挙開催に当たり、どういった物が必要で何をするのかといった面にまだまだ不安が残る中の開催でした。今年の副賞は他の班に協力を仰ぎ、受賞者にはステッカーなどの図書館グッズの詰め合わせをお渡し予定です。そのため、より図書館企画として温かみに溢れた企画にすることができたかと思えます。

POPを通して、POPを作ること、誰かに好きな本を紹介することの喜びに触れることができているれば良いなと思っています。

## グッズ作成

総合歴史学科 小西 志保



グッズ班では、読書活動に彩りを加えられるものを目指して、様々なグッズを制作しています。特に力を入れたのはスタンドグラス風葉の作成です。1枚1枚切り出し、色合いを考えてセロファンを貼りつける必要があったため、量産がとても大変な業でした。

しかし、利用者の皆さんにはとても好評だったようで嬉しい限りです。

今後も新しいアイデアを形にしていきますので、ぜひ図書館カウンター横のグッズに注目してください。



## リレー小説

実践英語学科 宮本 彩生

今年度のリレー小説班は、班員3人と、ポスターとメールにて学内で参加したい人を募り、「ホラー」と「ファンタジー・アドベンチャー」の2つのジャンルでリレー小説を作りました。それぞれのジャンルを担当する班員が主人公の設定を考え、それを基に参加者も交えて、順番に執筆していきました。また、「短編小説の作成もしたい」という意見が出たため、リレー小説だけでなく、班員でSF短編小説の作成も行う予定です。



執筆経験のある方はもちろん、未経験で興味を持ってもらえた方にも、ぜひリレー小説に参加してもらい、小説を書くことの楽しさを知るきっかけになれば良いなと思います。

## 掲示物作成

表現文化学科 今井 美唯菜



掲示物作成班は年三回掲示しており、季節が感じられる飾りつけをしています。館内を活気あふれる雰囲気づくりに尽力しました。

2023年の夏は「海・夏祭り」をテーマに、海の生き物や提灯を飾りました。秋は「ハロウィン」をテーマに、おぼけやコウモリの形の厚紙を壁に飾りました。冬は「クリスマス」をテーマに、ツリーを飾りました。

今後来館される方々がわくわくするような掲示ができるように工夫していきたいです。



## 絵本の読み聞かせ

初等教育学科 鹿庭 太一



私たち絵本の読み聞かせ班は、就実こども園と就実小学校の2か所で読み聞かせを行っています。今年度は3人グループを作り、夏に1回それぞれの場所に読み聞かせに行ってきました。活動の内容は、始めに自己紹介をし、続けて読み聞かせの空気感を作るための手遊びをしてから、読み聞かせを行うというものでした。本は季節を考慮して選びました。終始子どもが反応を示してくれるので読んでいるほうもとても楽しかったです。



## 読書会

総合歴史学科 黒田 晶久

読書会班は、月に1度集まってテーマに沿った本を紹介しています。テーマは「ファンタジー」や「部活」など、メンバーが案を出して決めます。知らなかった本を知ることができたり、本が好きな人と会話ができたりするので楽しいです。本の説明をした後に、他のメンバーが質問をします。会話が意外な方向に飛ぶこともあります。興味のある方は、ぜひ参加してみてください。



## 図書館ゲーム

薬学科 野口 結加

図書館ゲーム班は、謎解きゲームである図書館ゲームを通して図書館について知ってもらうことを目標に活動を行っています。

今年度の図書館ゲームのタイトルは『夕暮れ刻の図書館呪われた本と魂の残影』であり、ストーリーと謎4問で構成しました。昨年度に引き続き、映画研究部さんと連携して物語の冒頭と結末部の動画の作成も行いました。来年度も沢山の方々に楽しんでいただけるようなイベント開催を目指して活動していきます。



グッズ班が景品用に作成しました。

学生協働

声かけね

学生の皆さん、ぜひ私たちと一緒に、得意なこと、好きなことを活かしながら学生協働をしませんか。図書館サポーターはいつでもメンバーを募集中です！  
気になった方はお気軽に図書館カウンターにてお声がけください！



## 卒業する図書館サポーターからのエール



私は、掲示物作成班と企画展示班に所属し、活動させていただきました。

どちらも、来館される方に季節感や少しの楽しみを感じていただけるように意識しながら、考案・作成を行いました。苦手なことにもたくさん挑戦し、楽しい思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。

(表現文化学科 馬越 遥)



新入生ガイダンスや絵本の読み聞かせの活動に参加しました。

図書館サポーターの活動を通して、職員の方々や他の学年、学部の方々と交流を深めることができました！就実小学校へ絵本の読み聞かせに行った時、子供達の楽しそうな顔を見ることができたのがとても印象に残っています。大変お世話になりました。ありがとうございました。

(実践英語学科 虫上 健太)



小学校で絵本を英語で読ませてもらうという貴重な体験ができました。小学生は真剣に自分が読んでいるお話を聞いてくれて、とても楽しかったです。そのほかにも色々な体験ができるみたいなので、大学のうちに何かを成し遂げたいって方は是非、図書館司書の方にお話を伺ってみてください！

(実践英語学科 山本 天晴)



図書館サポーターの活動を始めてから早3年の月日が流れました。自分のやりたいことを叶えてくれる場所でした。また、新入生図書館ガイダンスのスタッフ、読書会、企画展示などの活動を通して職員の皆さんや他学科の子達との交流を深めることができたのは本当に楽しかったです。

これからも頑張ってください。本当にありがとうございました。

(実践英語学科 奥田 祐希)



## 卒業する図書館サポーターからのエール



私は図書館サポーターとして、図書館ゲームの運営、読み聞かせ、企画展示に携わりました。そして、他のサポーター、図書館職員の方々と交流し、様々な経験をすることができました。本当にありがとうございました。

(総合歴史学科 出射 諒)



図書館サポーターとして、新入生オリエンテーションに参加させていただきました。様々な学部や学年の方と関わりを通して以前よりも成長できました。ありがとうございました。

(総合歴史学科 吉川 大翔)



学年・学部を越えた交流の中で、図書館を支える図書館サポーターの仕事はとても楽しかったです。これからも図書館サポーターによる活動で、就実図書館がよりよいものになればと思います。

(総合歴史学科 辻 優希奈)



私の図書館サポーターとしての1番の思い出は、POP作りです。最初はアナログな方法しか知らなかったのですが、教えていただきデジタル上でも作成することができるようになりました。職員の皆さま、今までありがとうございました。

(初等教育学科 土肥 桃子)



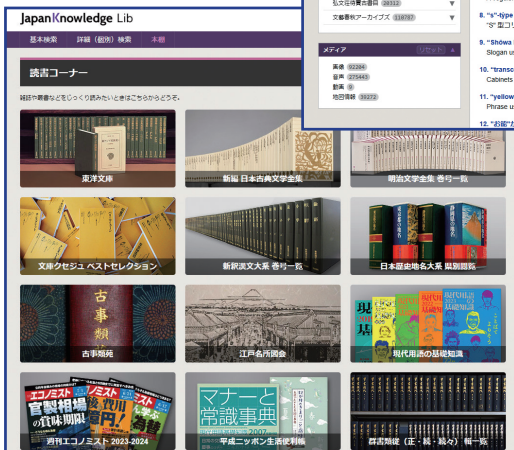
# ジャパンナレッジ Lib

表現文化学科 准教授 瓦井 裕子

Japan Knowledge Lib の魅力は、たくさんの辞書や文学作品のテキストなどが一つに集約され、検索するとこれらすべてから該当するものを一覧にして示してくれることです。研究のアイデアを思いついたときにすぐ調べられて、判断材料を一瞬で与えてくれるのは本当に助かりますし、思わぬところから有益な情報を拾ってくれることもあります。また、古典と呼ばれている作品をスマホから読むこともできます。辞書で言葉を調べたいというライトな使い方から、研究での本格的な使用まで、様々なニーズに対応してくれる便利なデータベースです。どこからでもアクセスできて簡単に調べられますから、まずは気軽に使ってみてくださいね。

## データベース活用法

ユーザーズガイド



### ジャパンナレッジLib

(同時アクセス無制限、学外からは学認で利用可)

約50種類の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイト。日本大百科全書、デジタル大辞泉、日本人名大辞典、英和辞典、デジタル化学辞典等を利用できます。

※追加コンテンツ「国史大辞典」「角川古語大辞典」「大漢和辞典」「群書類従」も利用できます。





# メディカルオンライン

教育心理学 講師 堀田 裕司

メディカルオンラインは、国内の医学系論文の閲覧や、それらの論文をPDFでダウンロードすることができるデータベースです。私の研究領域である労働者のストレスや臨床心理学に関する論文もメディカルオンラインの検索でヒットしますので、意外と守備範囲が広いです。その他、メディカルオンラインでは、おすすめ文献や数ヶ月以内に薬価収載された医療用薬の紹介、医療機器の会社の商品紹介など、文献検索以外にも興味深い情報に出会うことができます。あれこれ見ているだけでも面白いので、みなさんも是非活用してみてください！

The screenshot shows the Medical Online website interface. At the top, there are navigation tabs for Home, Literature, E-books, Quick search, Log out, and Book center. A search bar is visible with the text "キーワード" and "15件". Below the search bar, there is a large banner image of a person's hands typing on a keyboard. To the right, there is a user profile section for "就実大学" (Keio University) with fields for ID, authentication, and login options. Below the banner, there is a section for "今週のおすすめ文献" (Recommended literature this week) with a list of articles and their abstracts. At the bottom, there is a table of journals with columns for journal name, category, publisher, and issue year.

雑誌名	分野	発行元	配信年数
ACTA MEDICA et BIOLOGICA	基礎医学・薬理学	ACTA MEDICA et BIOLOGICA編集委員会	1964 - 2008
Acta Medica Kindai University	医学総合	近畿大学医学会	2008 - 2023
Advances in Exercise and Sports Physiology	運動医学・発達科学	日本運動生理学会	1999 - 2023
AICHI-GAKUIN DENTAL SCIENCE	歯科学	愛知学院大学医学会	1988 - 2002
AINO JOURNAL	医学総合	監野大学	2002 - 2002
Allergy International	臨床医学・内科学	日本アレルギー学会	2005 - 2023
Alternatives to Animal Testing and Experimentation	自然科学ほか	日本動物実験代替学会	1990 - 2023
Angiology Frontier	臨床医学・内科学	メディカルレビュー社	2002 - 2016
Angiotensin Research	基礎医学・発達科学	先端医学社	2004 - 2015
Animal Behaviour and Management	自然科学ほか	動物の行動と管理学会	2005 - 2023
Anthropological Science	基礎医学・薬理学	日本人類学会	1997 - 2023

データベース活用術

ユーザースタイル

## メディカルオンライン

(学外からは学認で利用可)

国内発行の医学・歯学・看護学・栄養学・医療技術系雑誌論文及び電子書籍をPDF形式で閲覧可能なデータベースです。



# 日経テレコン 21 日経バリューサーチ

経営学科 教授 日高 靖和

## データベース活用法

ユーザーズガイド

「日経テレコン 21」「日経バリューサーチ」を経営学部以外の学生の皆さんも是非活用してください。たとえば、就職活動中の学生は、これらのデータベースを使って自分が希望する業界や企業のことを調べた上で、エントリーシートを書いたり、面接を受けたりしてみてください。企業の方にとっては、自社のことが日本経済新聞などで取り上げられることに誇りを感じています。皆さんが読んでいることを知れば、きっと喜んでくれるはずですよ。



◀日経テレコン 21▶

### 日経テレコン21

(図書館内アクセス限定、ID・PWが必要となります)  
国内外の企業データベースや人物プロフィールなどのビジネス情報が幅広く収録されています。



◀日経バリューサーチ▶

### 日経バリューサーチ

(学内アクセス限定、同時アクセス1台限定。)

企業・業界を多面的に分析するために必要な数値情報、定性情報が幅広く収録されています。就職活動、論文、レポート作成等で有効に活用できます。「ニュース・記事検索」のメニューを使うと、日経朝刊・夕刊の新聞記事や日経ニュース速報などを検索して見ることができます。

# 今年度導入しました

## SFX

契約中（有料）のものと、無料の電子ジャーナル、電子ブック、OPAC、Webサーチエンジン等へのリンク情報を集中管理して、求める資料へとナビゲーションするリンクリゾルバーです。日本語も英語の文献も探すことができます。

<https://sfx.usaco.co.jp/shujitsu/az>



## 『韻鏡』

「韻鏡」とは、唐宋もしくは五代ごろ（十世紀）の著作といわれた中国の韻図で、江戸時代には韻鏡研究が流行、当時の日本における言語生活に影響を与えたようです。研究者の三沢氏の収集した約200冊のコレクションを特殊資料室に所蔵しています。

そのうち37点は国文学研究資料館歴史的典籍NW事業で作成、「国書データベース」で国内外にて利用されています。続く57点は本学の今年度特別予算においてデジタル化作成、同データベースでの公開は次年度予定ですので、ご覧ください。



ユーザーズガイド

## 学認

学認とは、学術認証フェデレーションのことで、学術e-リソースを利用する大学、学術e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体のことで、相互に認証連携が実現し、シングルサインオン（一つのID・パスワードであらゆるシステムが利用可能であること）が可能になりました。今年度参加手続きが完了、「いつでも・どこでも」学内でも学外でもデータベース等が利用できる環境ですので、ご活用ください。





## 図書館の変化にお気づきでしょうか

### 変化①

「学認」の導入によって、「データベースや電子ジャーナルは大学内で利用するもの」から、「いつでも・どこでも」自宅や通学中に利用可能になりました。

瓦井先生、堀田先生、日高先生による「データベース活用法」をご覧ください。

### 変化②

4階特殊資料室所蔵の和古書「韻鏡（いんきょう）コレクション」の一部が国文学研究資料館「国書データベース」<https://kokusho.nijl.ac.jp/>で検索・公開、オープンアクセスで利用できるようになりました。

### 変化③

授業開講期の開館時間が平日9時から19時まで、試験期間は平日20時までの延長と日曜日も17時まで開館しました。この間、レポート作成や本の貸出等のため、たくさんの利用者が来館されました。

図書館サポーターの学生たちは活動をととして、責任感と成長がみられる一年でもありました。これからの活動ではさらに深く、多岐にわたり広がっていくことが予想されます。ますますご支援・ご指導ください。詳しくは図書館サポーターの活動報告をご覧ください。

## 図書館と コラボ しませんか

▶美術部



図書館のスペースを利用して、「美術部」と「書道部」による作品の展示を行いました。

部員の皆さんの様々な作品が飾られて、華やかな空間となりました。

このイベントは毎年開催していますので、発表の場の一つとして、写真や絵画の展覧、演奏会の開催、動画撮影や情報発信をしてみませんか。

図書館サポーターとのコラボ大歓迎です。アイデアのお声がけをお待ちしています。

書道部▶



## 共翔 第31号

令和6年2月29日発行

編集・発行  
就実大学・就実短期大学図書館

〒703-8258 岡山市中区西川原1-5-22 TEL(086)271-8134 FAX(086)271-8275  
ホームページ <https://www.shujitsu.ac.jp/toshokan/>

※館報の題字は押谷善一郎名誉教授の書によるものです。